

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	ギフテッド川内		公表日 2026年3月31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動する際に個別学習・小集団学習とで適切なスペースとなるように設定している。学習や運動、コミュニケーション等目的に合わせて部屋を使い分けて適切な環境に設定している。近隣の公園での運動指導なども行っている。	活動内容によっては狭く感じることがある。利用時間内での取り組む順番や屋外活動や空間の工夫などを行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	配置基準を満たし配置している。欠員がた際には法人内で連携し兼務のスタッフ等での補填を行っている。普段から声掛けなどで連携を図っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・時間や空間等がわかりやすいよう掲示物等での対応をしている。学習部屋では仕切りを用意し、集中しやすい環境づくりがされている。・事業所内に階段はない。入り口に段差があるがスロープや手すりはない。	利用者様にあわせて必要に応じて対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動に合わせて温度調整や窓をあけて換気などを行っている。毎日掃除をし、子供が触ったり口に入れたおもちゃなどは消毒をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	活動に合わせて部屋を使い分けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	週会議や毎日の朝礼で情報共有を行っている。常に業務や支援の目標や振り返りを話し合いの中で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	月に1度のアンケート『ご家庭とのサポート連携シート』を活用し、おさまやご家庭の情報のヒアリングを行っている。ニーズの変化にも都度対応している。支援員間で情報共有を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・週会議や毎日の朝礼の中で機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	受講しやすい環境づくりがされており、研修を経て情報共有する機会がある。研修費の会社負担や、研修参加時のスケジュールの組みやすさがある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	計画表がある。 支援内容ブラッシュアップのための研修がある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	日々支援の中で子供の意見を尊重し、FB時に保護者への聞き取りも行っている。更新の機会には話し合いをして店舗で	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	週会議等で支援員間で話し合っていて決めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	日々の朝礼などで計画に沿った支援計画を話し合っている。定期的に行う週会議や毎日の話し合いで子供に合わせた支援について共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	定期的なアセスメントや、普段の活動のなかでの情報収集などを行い福祉ソフトを使用して管理している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	本人の意思や希望を確認し優先順位を整理して支援をしている。保護者からの要望をきき、支援内容や目標の設定や、本人の役割について設定している。日々の支援に限らず、定期的に行っている家族参加型イベント・地域交流イベントなどを行って連携や相談などの支援をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々の朝礼や週会議等で行っている。 支援計画や前回の利用時の様子をもとに毎朝プログラムを立案、作成している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	会議などで支援員間で話し合い、固定化しないようにしている。研修参加の機会が多く、学びを即座に実践につなげるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	日々の朝礼や週会議等利用者それぞれにあわせた支援内容を話し合っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	日々の朝礼でそれぞれの気づきを共有している。前回の様子を共有後に当日の課題内容や達成目標についてなど話している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	日々の終礼でそれぞれの気づきを共有している。また次回の支援前にも振り返りや情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録し、振り返りを行って、よりよい支援内容を目指して都度見直している。支援中もスタッフ同士で情報共有をしながら活動をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	利用者に対して必要性のある支援や優先順位の整理などをし内容を見直している。受給者証の更新や相談支援員さんのモニタリングにあわせて定期的なモニタリングをして	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	本人の希望をききながら様々な自己決定ができる場を設けている。余暇が充実するように過ごし方の提案も行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	スケジュールに組み立てなど利用者と話し合っ支援を進めている。未経験のものは安心して挑戦し今後の参加の判断ができるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	普段の実践にはいるスタッフと管理者とで情報共有をし会議準備を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	利用者ごとの希望に合わせ必要に応じて連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校の行事予定の聞き取りや子供の状態など情報共有を行っている。送り出しの先生や担任の先生を中心に情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	引継ぎシートの活用など情報共有を行っている。希望時には指導経歴や本人の様子などについて記入しお渡ししている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	障害福祉サービス事業所等へ移行した利用児はまだいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	理学療法士・心理士などによるスーパーバイズや全体研修など学びの場が何度もあった。その後の実践報告や再構築へのアドバイスなどもいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域参加型イベントの開催など積極的に関わる機会を設けている。イベントで交流がある。	地域の児童クラブとの交流はまだない。状況に合わせて交流の機会を設けられるように検討している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	保護者への引き渡しの際、子供の状態の情報共有を行っている。FBの時間の母親父親や保護者とのコミュニケーションを大切にしている。分からないことはすくなくうらに心がけている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	ホームプログラムの提案など積極的に行っている。ご相談内容や困り感にあわせて提案している。また実践経過などについてのヒアリングを行っておりご家族の負担感に合わせて内容調整の提案も行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	FB時や必要に応じて面談の設定などを行っている。契約時や計画書更新時に説明し合意をいただいている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	子どもや保護者への聞き取りを行っている。発達にあわせて支援の優先順位を整理しつつ、保護者のご要望や本人の希望とを整理しお話をしている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	FB時や必要に応じて面談の設定などを行っている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	迅速に面談の設定を行い、対応している。 相談や面談の内容共有がある。 相談記録の確認を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	家族参加型イベントの開催で保護者同士の交流を図っている。FB時に悩みなどがあつたことをスタッフ間でも共有し、随時面談を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情に対してフローにそつて対応し職員での情報共有や再発防止に向けて迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	SNSの活用や月ごとに発行されているレポートなど情報発信を積極的に行っている。 インスタグラム、TikTokなどでの情報発信がある。 毎月の会報での活動報告をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	研修があつた。守秘義務をまもり情報管理をしている。 個人情報係は書庫に置いて管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	本人や保護者にあわせた方法でやり取りをしている。 利用者にあわせて表出方法で意思を伝えられるようにしている。絵カードやタブレットなどのコミュニケーションツールを使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域参加型交流イベントの開催など交流を図っている。 地域での勉強会や研修会などの開催をしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	全体会議での合同の訓練や、週会議など店舗ごとでも訓練を定期的に行っている。 定期的にマニュアルを確認する機会がある。 訓練の計画と実践をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	週会議での情報共有や訓練などを行っている。 机上訓練や計画の確認などを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	新規利用者の情報共有やアセスメントの確認など徹底している。ファイルやシステムでいつでも確認できるようになっている。服薬変更があつた際には保護者から情報共有いただき支援員へ共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アセスメントでの確認や支援員間で情報共有を行っている。 飲食物の提供時にはスタッフ2名以上で確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	全体会議での合同研修や週会議などで行っている。 外出時には事前に見学をするなどして対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	FB時や必要に応じて面談を設定して情報共有を行っている。 必要に応じて掲示物での周知もしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	気になる場面があつた際には、即時に情報共有をしている。 当日の終礼や翌日の朝礼でも情報共有し、振り返りと対策をしている。支援員間で情報共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	店舗内や全体での会議などで研修がある。 入社時に研修があつた。 委員会後に情報共有があつた。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	入社時や年間研修で学んでいる。保護者様へは契約時に説明している。 同意書の内容について確認している。		